



JAPAN ASSOCIATION FOR THE
IMPROVEMENT OF CONDITIONS OF
WOMEN SCIENTISTS

JAICOWS Newsletter

No.45 (2024.9.1 発行)

会長ご挨拶 『ジェンダー事典』刊行によせて

井野瀬 久美恵

JAICOWS会員の皆さま、猛暑の長期化や台風進路の変化に気候変動を感じる昨今、お変わりございませんでしょうか。

2024年3月24日午後、Zoomによるオンラインでの総会に引き続き、刊行まもない『ジェンダー事典』（丸善出版、2024年）の編集委員長を務めた松本悠子先生（中央大学名誉教授）をお招きして、講演会を行いました。

『ジェンダー事典』は、松本先生のもと、3人の編集幹事（小玉亮子、三成美保、伊藤公雄）を含む総勢35名の編集委員会を中心に、分野横断的に諸分野の専門家が結集して作られました。私も第13章『学術と科学』の編集委員を務めましたが、委員全員がジェンダー研究の基本姿勢、すなわち「性別や性の在り方にかかわらず人間の尊厳と人権を守る」ことを共有していたと感じています。

全18章、345項目から構成される中身は、歴史、政治、経済、法律、労働や社会運動、学術と科学、教育、宗教と信仰、メディア、さらには人の移動、ポップカルチャーなど、実に多岐に渡ります。全執筆者293名（うち男性は41名）の3割弱は大学所属以外で、実務家、団体、文筆家、所属のない研究者など多様です。

本事典の大きな特徴として、ジェンダーが私たちとどのように関わってきた/関わっているかを幅広い読者に届けるべく、「読む事典」をめざしたことがあげられます。なかでも第1章は、日本、欧米、東アジアなどにおけるジェンダー研究の流れや歴史が簡潔に整理されていて必読です。

加えて、ジェンダー学分野で発展させるべき課題である「男性に関わる/男性にも焦点を当てた研究」の充実も、本事典の特徴といえるでしょう。理工系の学問領域にジェンダー研究がどのように生かされるかにも目配りされています。ポジティブ・アクション（アファーマティブ・アクション）である「クオータ制の提言、会社の経営陣への女性の参加の推進、あるいは大学の理系学部の女子枠」などをどう考えるかに加えて、性別二元論をどう超えるかの試行錯誤にも留意されています。

こうした本事典の特徴は、日本社会の傾向である「ジェンダーは女性の問題、あるいは性の多様性の問題と限定された理解」を変えていくことと絡んでいると思われまます。松本先生は、「私見ながら」として、「英語の多用。アルファベットの略語、英語のカタカナ読み、時に英語が必要とは思われない普通の表現にも英語を添える事例が分野によって多く見られる」ことが気になったと言われました。英米中心のフェミニズム議論、ジェンダー学研究をどう越えていくかは、イギリス近代史を専門とする私にとっても今後の課題といえます。

2024年8月下旬時点で、『ジェンダー事典』は三刷となったそうです。これをジェンダーへの関心の高まりとして歓迎しつつ、JAICOWSとしては「その先」を考えていきたいと思ひます。『ジェンダー事典』に関するご感想やご意見、どんどんお寄せください。

最後に一言。2024年度のニューズレター発行が遅れましたこと、平にご容赦ください。引き続きよろしくお願いいたします。

2023年度JAICOWS総会議事録

日時：2024年3月24日（日）11：00～12：00

会場：オンライン（zoom）

会長挨拶、開会宣言、議長選出

< 議事 >

1. 2023年度（2023/1/1-12/31）活動報告

井野瀬会長より以下の活動報告がなされ、承認された。

1. 役員会の開催（メール稟議）
2. ニュースレターVol.44の発行（2023年12月）
3. メールマガジンによる会員への通信（2/6, 2/18, 11/30, 12/18 計4回）

2. 2023年度（2023/1/1-12/31）決算報告

來田事務局長より、2023年度予算「支出合計」（赤字）について、2022年度総会提出時の予算案資料の誤記について訂正の説明が行われた上で、決算報告案が示された。この決算報告案について、浅倉監事による監査報告書が示され、原案が承認された。

（承認された決算報告書は3頁参照）

3. 2024年度（2024/1/1-12/31）活動計画

井野瀬会長より、以下の活動計画案が示され、承認された。

1. 総会の開催（2024/3/24）
2. 役員会の開催（3回程度およびメール稟議）
3. ニュースレターVol.45の発行
4. 講演会・シンポジウム等の開催（3/24他）
5. メールマガジンによる会員への通信
6. その他

4. 2024年度（2024/1/1-12/31）予算案

來田事務局長より決算報告案が示され、承認された。

（承認された予算案は4頁参照）

5. その他

1. 日本学術会議の現状について
2. 内閣府男女共同参画推進連携会議議員の派遣とその意義について

< 案内と情報共有 >

1. 2023年度講演会について
2. 年会費の納入について（事務局）

議長解任、閉会宣言

以上

（書記 來田享子）

1. 収入の部

単位:円

勘定科目	2023年度予算	2023年度決算	予算比	備考
会費	300,000	240,000	-60,000	
利子	0	0	0	
寄付金等	0	1,000	1,000	「非常勤講師は今」購入費
前年度繰越金	657,680	657,680	0	
収入合計	957,680	898,680	-59,000	

2. 支出の部

勘定科目	2023年度予算	2023年度決算	残高(決算-予算)	備考
通信費	10,000	0	-10,000	
Newsletter印刷費	0	0	0	44号はWeb上で発信
Newsletter発送費	0	0	0	44号はWeb上で発信
行事費	50,000	20,000	-30,000	2月講演会講演者への謝礼
会議費	10,000	0	-10,000	Web会議のため
事務費	80,000	79,541	-459	トークン購入費(1650円)、HPサーバー維持費・保守費(66000円)、ヒアリング調査テープ起こし(11891円)
学会業務委託費	120,000	60,000	-60,000	事務局幹事への事務作業代
消耗品	10,000	0	-10,000	
振込手数料	1,000	495	-505	ゆうちょダイレクト送金165円×3
予備費	19,000	0	-19,000	
小計(支出科目計)	300,000	160,036	-139,964	
次年度繰越金	657,680	738,644	80,964	
支出合計	957,680	898,680	-59,000	

郵便振込口座残高

682,273

手持ち金

56,371

738,644

1. 収入の部

単位:円

勘定科目	2023年度予算	2024年度予算	前年比	備考
会費	300,000	300,000	0	
利子	0	0	0	
寄付金他	0	0	0	
前年度繰越金	657,680	738,644	80,964	
収入合計	957,680	1,038,644	80,964	

2. 支出の部

勘定科目	2023年度予算	2024年度予算	前年比	備考
通信費	10,000	10,000	0	調査用紙郵送費等
(Newsletter印刷費)	0	0	0	ウェブ化にともない不要
(Newsletter発送費)	0	0	0	同上
行事費	50,000	50,000	0	2024年講演会講師謝金等
会議費	10,000	10,000	0	講演会会場費等
事務費	80,000	80,000	0	HP管理・サーバー代(66,000円)
学会業務補助費	120,000	120,000	0	事務作業業務等謝金(1か月1万円)
消耗品	10,000	10,000	0	印刷用紙、宛名シール等
振込手数料	1,000	1,000	0	2023年度実績値にもとづく
予備費	19,000	19,000	0	
小計	300,000	300,000	0	
次年度繰越金	657,680	738,644	80,964	
支出合計	957,680	1,038,644	80,964	

現在の役員

会長 井野瀬 久美恵
副会長 小浜 正子
事務局長 來田 享子
役員 廣瀬 眞理子
伊藤 美千穂
内藤 忍

JAICOWS事務局

(2022年度から変更しています)

〒470-0393
愛知県豊田市貝津町床立101
中京大学スポーツ科学部 來田享子研究室
Tel. 0565-46-6568
jaicows_office@jaicows.org

会費振込口座

口座名義：女性科学研究者の環境改善に関する懇談会
郵便振替口座番号
00160-5-421146
銀行振込の場合
ゆうちょ銀行〇一九（ゼロイチキュウ）店
当座0421146